

更なるごみの減量・資源化とコスト削減を目指して

減量・資源化促進月間

問い合わせ先 美化センター ☎42・3841

- 02-10月はごみ減量・資源化促進月間
- 04-有年考古館リニューアルオープン
- 06-健康ページ
- 07-その仕事おまかせください シルバー人材センター
- 08-10月から子ども手当が変わります
- 09-秋の火災予防運動 ほか
- 10-赤穂観光マスコットキャラクター決定 ほか
- 12-フォトニュース
- 14-地産地消イベントガイド ほか
- 16-あなたは悪くない DVパートナーからの暴力
- 18-情報コーナー
- 22-社協だより
- 24-くらしのカレンダー

赤穂市では、毎年10月を「ごみ減量・資源化促進月間」として、ごみの排出抑制(Reduce・・・リデュース)、再利用(Reuse・・・リユース)、再資源化(Recycle・・・リサイクル)といった「3R」の推進やごみ分別の徹底、ごみ出しルールやマナーの向上などの啓発を行っています。

今年度も、より一層のごみ減量・資源化を図るため、さまざまな啓発に取り組んでいます。全市民を対象にした美化センター施設見学説明会、小学生高学年を対象にごみの減量や分別の大切さを学ぶ子どもサマースクールなどを開催しています。また、9月には「環境美化フェア」を開催するなど美化センター業務について知っていただくことも、ごみの減量・資源化につながるものと考えています。

ごみの減量・資源化は市民一人ひとりの意識と行動により大きな成果が得られるものと考えられますが、美化センターにおきましても、積極的な施策の展開に努めていきますので、ご協力をよろしくお願ひします。

平成22年度のごみ処理量は4年連続減少!!

平成22年度における赤穂市のごみ量は17,686トンのみで、平成21年度に比べて546トン(3.0%)減少し、平成19年度から4年連続の減少となりました。

美化センターが直接収集したごみ(直営収集ごみ)は11,513トンのみで、平成21年度に比べ434トン(3.6%)減少しています。市民1

人口の動き(8月) 住民基本台帳登録者人口

世帯数	19,880戸	(+ 18)
人口	50,824人	(- 2)
男	24,534人	(- 5)
女	26,290人	(+ 3)

()内は前月比

◎8月中の異動

出生	34人(+ 7)	転出	82人(+ 9)
死亡	42人(+ 8)	その他増	6人(+ 5)
転入	82人(+ 38)	その他減	0人(± 0)

交通事故発生状況

区分	8月	平成23年累計
発生件数	152(+ 35)	1,039(+147)
人身	29(+ 14)	170(+ 16)
物損	123(+ 21)	869(+131)
死者	0(- 1)	3(± 0)
重症	3(+ 3)	16(- 5)
軽傷	29(+ 14)	176(+ 25)

()内は前年比

火災・救急状況

区分	8月	平成23年累計
火災	1(- 1)	13(+ 2-)
救急	130(- 26)	1,184(+ 110)

()内は前年比

火災発生時での問い合わせは ☎43・6899 まで

平成22年度 ごみ処理量 (単位：トン)

区分	H22	H21	増減
直営収集			
燃やさないごみ	9,455	9,833	△378
燃やさないごみ	456	464	△8
粗大ごみ	492	504	△12
缶・びん	426	432	△6
ダンボール・紙パック	94	104	△10
その他紙製容器包装	176	188	△12
その他プラスチック製容器包装	314	331	△17
ペットボトル	100	91	9
計	11,513	11,947	△434
直接搬入			
燃やさないごみ	5,204	5,302	△98
燃やさないごみ	147	156	△9
粗大ごみ	157	170	△13
缶・びん	137	146	△9
ダンボール・紙パック	31	40	△9
その他紙製容器包装	5	5	0
その他プラスチック製容器包装	8	9	△1
ペットボトル	3	2	1
計	5,692	5,830	△138
環境ごみ	481	455	26
合計	17,686	18,232	△546

人1日当たりの排出量は約617グラム、年間になると約225キログラムになります。すると家族全員では...? 事業所や店舗などから美化センターへ持ち込まれたごみ(直接搬入ごみ)も、ほとんどのごみで減少しています。

(138トン、5.7%減) 地区清掃などによる環境ごみ等については、増加しています。

ごみの分別については、8種分別も定着し概ね良好ですが、在宅医療系廃棄物(注射針や注射器など)、ガスが残